

WIN・ワールドワイド・サーベイ2022

# 「戦争に関する国際世論調査: ウクライナ侵攻の影響」

24か国・地域グローバル調査

調査結果

2022年7月 株式会社 日本リサーチセンター



# ◆「WWS(WIN Worldwide Survey)」レポート

株式会社日本リサーチセンター(本社:東京都墨田区、代表取締役社長 杉原領治)が加盟している WIN(Worldwide Independent Network Of Market Research)では、2022年4月から5月にかけて世界24か国・地域の18歳以上の個人を対象に国際世論調査「WINワールドワイド・サーベイ」を実施しました。 この度、その調査結果がリリースされましたので、日本版レポートを発表いたします。ご高覧いただければ幸いです。

注1:比率(%)は、各国の人口に比例した重みを付けて集計を行っています(ウエイト集計)

注2:比率(%)は、四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならないところもあります

注3:国・地域を一部「国」と略して表記しています

注4:WIN事務局からリリースされたレポートは速報値であり、最終データを使用して再集計した日本版レポートとは数値が一致しない箇所があります

「WIN・ワールドワイド・サーベイ」は、社会やビジネスに関連するトピックについての人々の考え・期待・懸念等を把握する目的で、毎年実施される調査です。

## WIN (Worldwide Independent Network Of Market Research)

2007年に設立された、独立系調査会社のネットワークです。 現在世界のおよそ40か国・地域でメンバーを持ち、世界の多くの国で世論調査や市場調査を実施しています。

## ◆株式会社日本リサーチセンター(NRC)

1960年に設立された民間の調査研究機関です。 民間企業、官公庁からの受託調査・研究及び自主企画調査を国内外問わず実施しています。 WINの設立に参加し、日本で唯一の代表として加盟しています。





- 1. ウクライナ侵攻の責任:24か国・地域平均、日本のどちらも"「ロシア」が責任を負うべき"が最多。
- ウクライナでの軍事侵攻・戦争について、責任を負うべき国などを複数回答で聞いたところ、24か国・地域平均では64%が、日本では85%が「ロシア」と回答し、最多。
- 24か国・地域平均では「ロシア」についで「アメリカ」(18%)、「わからない」(16%)だったが、日本では「ロシア」についで「わからない」(12%)、「中国」(11%)があげられた。
- 2. ウクライナ侵攻の収束の時期:「わからない」「2022年中\*」が24か国・地域平均、日本ともに多い。
- ロシアのウクライナ軍事侵攻・戦争はいつ終わると思うか聞いたところ、「わからない」が24か国・地域平均で39%と最多、ついで「2022年中」(35%)。日本では「2022年中」(42%)と「わからない」(41%)が並ぶ。(※「2022年中」は「2022年4月中」「2022年7月までに」「2022年内」の計)
- 3. ウクライナ侵攻の収束への行動:戦争終結に向けてのロシアの行動は「不十分」とする回答が24か国・地域平均でも日本でも3分の2強。
- "ロシア"、"中国"、"NATO"、"アメリカ"、"EU・ヨーロッパ諸国"、"ウクライナ"について、戦争終結に向けての行動が十分と思うか、不十分と思うか聞いたところ、「不十分」の回答割合は、"ロシア"が24か国・地域平均(68%)でも日本(68%)でも最も多く、ついで"中国"(24か国・地域平均:54%、日本:58%)。
- "ウクライナ"は「不十分」という回答が24か国・地域平均(23%)でも日本(15%)でも最も少ない。
- 4. 自国のために戦うか: 「戦う」は24か国・地域平均で46%、日本では19%。
- もし自国を巻き込んだ戦争が生じたら、国のために戦うか聞いたところ、24か国・地域平均は「戦う」が46%、「戦わない」は35%、「わからない」は19%。日本では、「戦う」が19%と24か国・地域平均より少なく、「戦わない」(48%)と「わからない」(34%)が多い。
- 自国のために「戦う」の割合の大きい順に並べると、上位3か国はパキスタン、トルコ、ペルー。一方、下位4か国は、オランダ、日本、ドイツ、イタリアで、日本は24か国・地域中23番目。





- 5. 自国との結び付き: 『自国は自分にとって最も暮らしやすい場所だ/自国で暮らすことは気に入っている』が24か国・地域平均では63%、日本では78%。
- 自国への関わりの度合いとして最も近いものを選んでもらったところ、『自国は自分にとって最も暮らしやすい場所だ/自国で暮らすことは気に入っている』が24か国・地域平均では63%、日本では78%。日本は自国との結びつきが強い人が多い。
- 6. 現在の気分: 21か国・地域平均\*で『良い(6-10)』が70%、日本は53%。
- 1~10の数字のうち、10が最も良い、1が最も悪いとして、「今日の気分」を聞いたところ、『良い(6-10)』という回答は、21か国・地域平均は70%。
- 『良い(6-10)』の割合の大きい順に並べると、上位3か国はフィンランド、コロンビア、カナダ。一方、下位3か国は、日本、パレスチナ、トルコ。日本は53%で21か国・地域中最下位(パレスチナと同率)。(\*アイルランド、イギリス、オランダは本質問対象外)
- 7. 将来の見通し: 『不安(6-10)』の割合は、22か国・地域平均\*\*が54%、日本が57%で同程度。
- 1~10の数字のうち、10がとても不安、1がとても安心として、将来についてどう感じるかを聞いたところ、『不安(6-10)』の回答の割合は、22か国・地域平均が54%で『安心(1-5)』(44%)よりも多い。
- **日本では、『不安(6-10)』が57%で、22か国・地域平均と同程度。**(\*\*アイルランド、オランダは本質問対象外)
- 8. 情報の信頼・経済の安定: "自国の経済状況"が『頼りになる・安定(計)』\*\*\*の割合は、24か国・地域平均が 29%、日本が15%と低い。
- "自国のメディアで報道されている、ロシアのウクライナ軍事侵攻・戦争についての情報の質"が『頼りになる・安定(計)』は、24か国・地域平均では44%、日本は43%で同程度。"自国の行政から受ける、ロシアのウクライナ軍事侵攻・戦争についての情報の質"が『頼りになる・安定(計)』は若干下がり、24か国・地域平均では41%、日本は35%。
- "自国の経済状況"が『頼りになる・安定(計)』の割合は、24か国・地域平均が29%。割合の大きい順に並べると、上位3か国・地域はフィンランド、パキスタン、パレスチナ。下位3か国は、日本、ペルー、レバノン。日本は15%で24か国・地域中最下位と自国経済への信頼が低い。"今後数か月間の自身の世帯の経済状況"が『頼りになる・安定(計)』の割合は、24か国・地域平均が46%、日本は30%で24か国・地域中22番目。(\*\*\*『頼りになる・安定(計)』: 「とても頼りになる/安定している」と「やや頼りになる/安定している」の計)

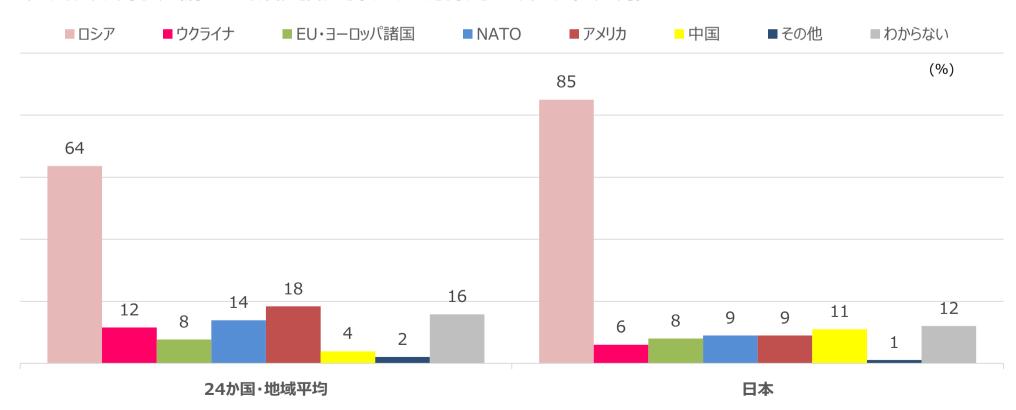




## ウクライナでの軍事侵攻・戦争の責任を負うべきは、24か国・地域平均、日本のどちらも「ロシア」という回答が最多。

- ウクライナでの軍事侵攻・戦争について、責任を負うべき国などを複数回答で聞いたところ、24か国・地域平均では64%が、日本では85%が「ロシア」と回答し、最多。
- 24か国・地域平均では「ロシア」についで「アメリカ」(18%)、「わからない」(16%)だったが、日本では「ロシア」についで「わからない」 (12%)、「中国」(11%)があげられた。

#### ■ウクライナでの軍事侵攻・戦争について、責任を負うべきなのは、次のどちらだと思いますか。(いくつでも)







- 「ロシア」の割合が大きい順に並べてみると、上位3か国はフィンランド、アイルランド、カナダ。一方、下位4か国は、パキスタン、セルビア、レバノン、パレスチナ。
- 日本は「ロシア」が85%で24か国・地域中5番目に高い(ドイツと同率)。「ロシア」の回答が少ない下位4か国をみると、「アメリカ」や「わからない」という回答が多くなっている。

## ■ウクライナでの軍事侵攻・戦争について、責任を負うべきなのは、次のどちらだと思いますか。(いくつでも)

	フィンランド	アイルランド	カナダ	イギリス	日本	ドイツ	スペイン	クロアチア	オランダ	フランス	スロベニア	チリ
ロシア	98%	89%	89%	88%	85%	85%	83%	78%	77%	73%	70%	<b>6</b> 8%
ウクライナ	8%	5%	6%	5%	6%	10%	11%	11%	7%	10%	28%	15%
EU・ヨーロッパ諸国	6%	3%	3%	5%	8%	9%	5%	9%	10%	8%	13%	13%
NATO	7%	8%	6%	9%	9%	15%	10%	17%	10%	15%	28%	19%
アメリカ	8%	6%	7%	6%	9%	17%	14%	31%	10%	14%	45%	16%
中国	8%	1%	3%	2%	11%	4%	7%	2%	4%	3%	5%	3%
その他	2%	1%	1%	2%	1%	1%	2%	2%	4%	1%	2%	3%
わからない	1%	6%	7%	7%	12%	8%	9%	0%	11%	15%	11%	15%

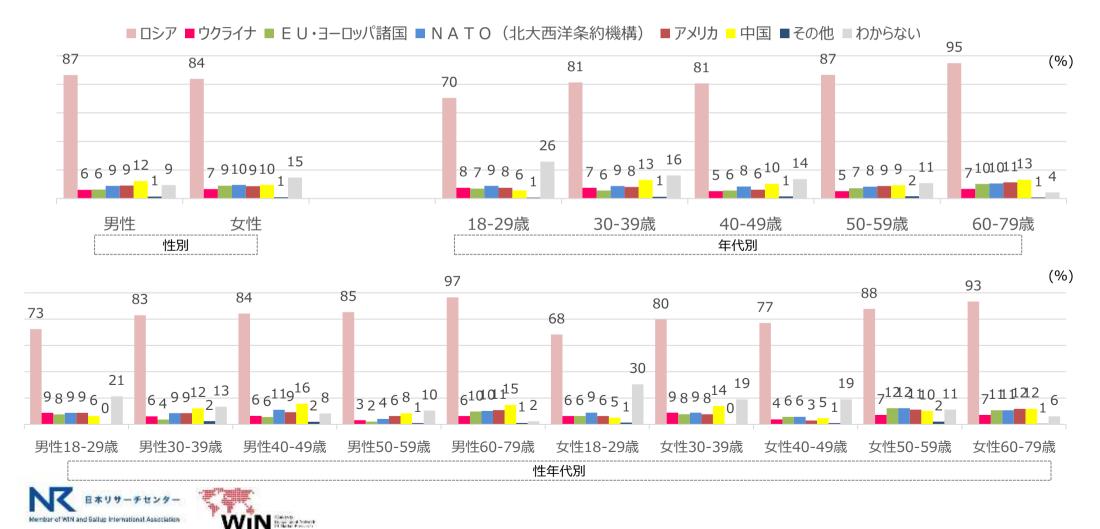
	イタリア	メキシコ	アルゼンチン	エクアドル	コロンビア	ナイジェリア	ペルー	トルコ	パレスチナ	レバノン	セルビア	パキスタン
ロシア	<b>6</b> 7%	<b>6</b> 4%	<b>6</b> 3%	57%	57%	56%	54%	39%	26%	26%	19%	15%
ウクライナ	14%	16%	13%	6%	16%	20%	11%	16%	10%	9%	22%	3%
EU・ヨーロッパ諸国	8%	8%	7%	3%	4%	7%	2%	24%	8%	5%	15%	2%
NATO	21%	15%	24%	2%	9%	15%	5%	22%	12%	18%	36%	2%
アメリカ	22%	19%	21%	4%	8%	22%	11%	35%	19%	28%	46%	23%
中国	3%	2%	5%	1%	3%	3%	2%	11%	5%	1%	2%	2%
その他	3%	1%	1%	6%	6%	0%	6%	3%	0%	0%	3%	0%
わからない	12%	12%	17%	21%	16%	9%	23%	38%	19%	35%	21%	57%





- ●日本の結果を性別にみると、「ロシア」の回答割合は男女とも大きく変わらない。
- ●年代別にみると「ロシア」の回答の割合は年代があがるにつれ増える。60-79歳は9割以上を占め、他の年代に比べて多い。
- ●性年代別にみると、「ロシア」の回答割合は男女とも60-79歳で9割以上と多い。

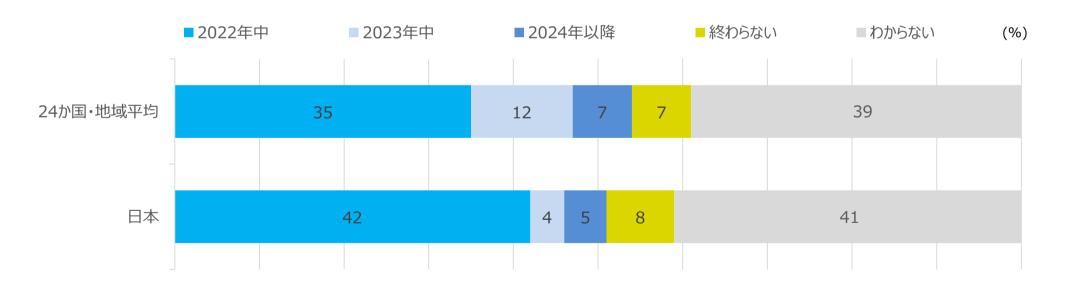
## ■ウクライナでの軍事侵攻・戦争について、責任を負うべきなのは、次のどちらだと思いますか。(いくつでも)



## ウクライナ侵攻の収束の時期は「わからない」「2022年中」が24か国・地域平均、日本ともに多い。

- ロシアのウクライナ軍事侵攻・戦争はいつ終わると思うか聞いたところ、「わからない」が24か国・地域平均で39%と最多、ついで「2022年中」(35%)。
- 日本では「2022年中」(42%)と「わからない」(41%)が並ぶ。

#### ■ロシアのウクライナ軍事侵攻・戦争はいつ終わると思いますか。(1つだけ)



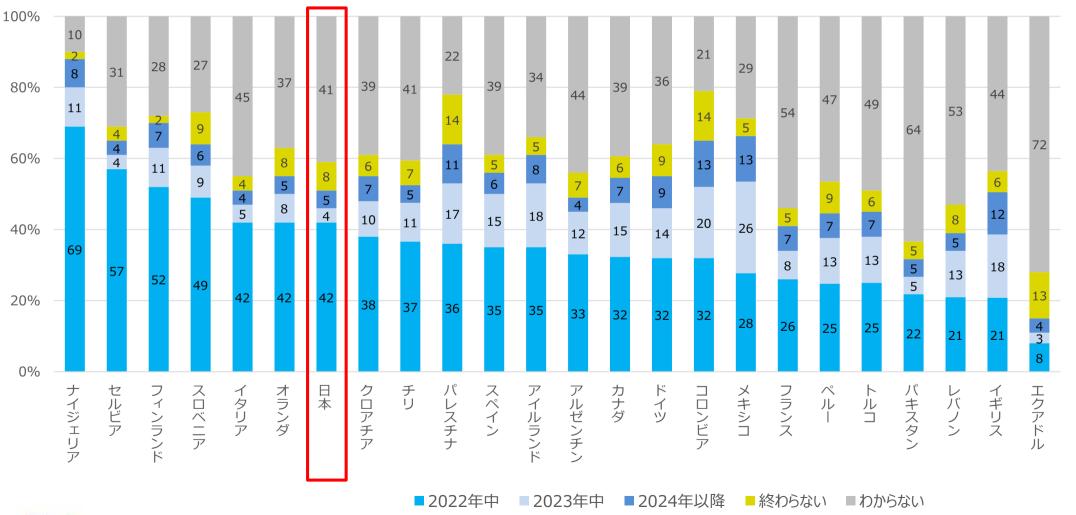
※「2022年中」は「2022年4月中」「2022年7月までに」「2022年内」の計





- ■「2022年中」の割合の大きい順に並べてみると、上位3か国はナイジェリア、セルビア、フィンランド。一方、下位3か国は、エクアドル、イギリス、レバノン。
- 日本は「2022年中」が42%で24か国・地域中5番目(イタリア、オランダと同率)。

## ■ロシアのウクライナ軍事侵攻・戦争はいつ終わると思いますか。(1つだけ)(「2022年中」の割合の大きい順に並べ替え)

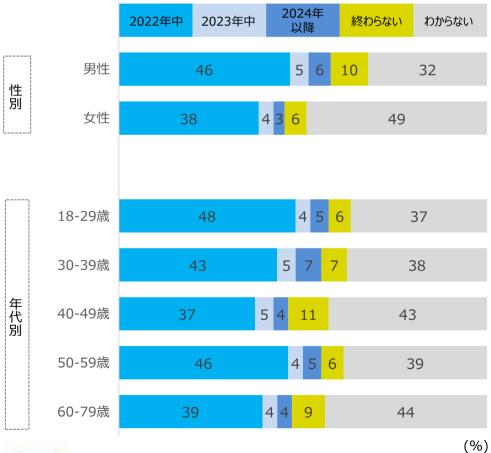


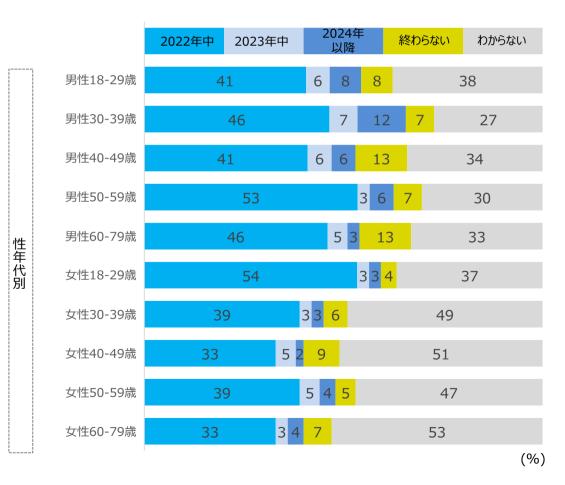




- 日本の結果を性別にみると、「2022年中」の回答の割合は男性が46%、女性が38%で男性の方が多い。女性は「わからない」が49%で最多。
- ●年代別にみると、「2022年中」の回答割合は18-29歳で48%と最多。
- ●性年代別にみると、「2022年中」の回答割合は女性18-29歳と男性50-59歳で5割を超え、他の性年代と比べて多い。

## ■ロシアのウクライナ軍事侵攻・戦争はいつ終わると思いますか。(1つだけ)









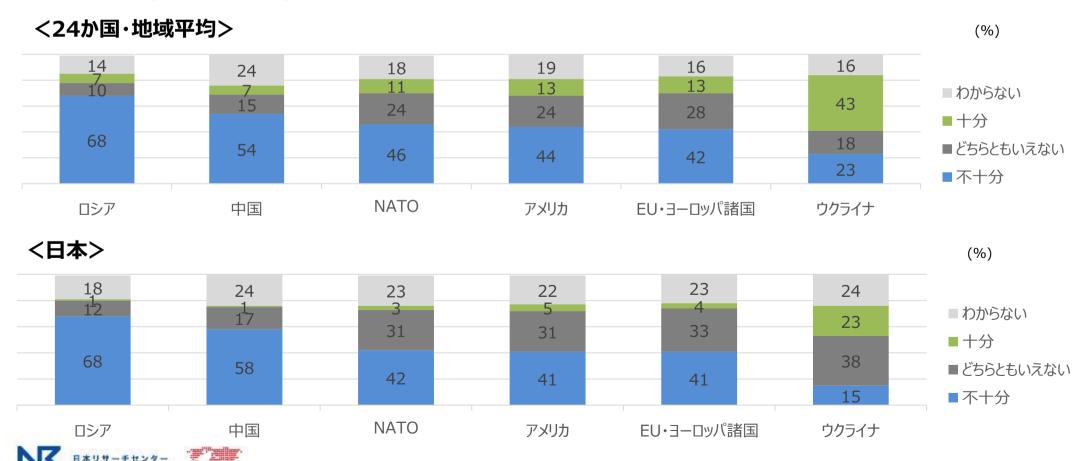
WIN

Member of WIN and Gallup International Association

## 戦争終結に向けてのロシアの行動は「不十分」とする回答が24か国・地域平均でも日本でも3分の2強。

- "ロシア"、"中国"、"NATO"、"アメリカ"、"EU・ヨーロッパ諸国"、"ウクライナ"について、戦争終結に向けての行動が十分と思うか、不十分と思うか聞いたところ、「不十分」の回答割合は、"ロシア"が24か国・地域平均(68%)でも日本(68%)でも最も多く、ついで"中国"(24か国・地域平均:54%、日本:58%)。
- "ウクライナ"は「不十分」という回答が24か国・地域平均(23%)でも日本(15%)でも最も少ない。

■以下の国・地域や組織について、戦争終結に向けての行動は、十分だと思いますか、それとも不十分だと思いますか。(それぞれ1つだけ)



- "ロシアの戦争終結に向けての行動が「不十分」"の回答割合の大きい順に並べると、上位4か国はフィンランド、アイルランド、カナダ、クロアチア。下位3か国・地域はパキスタン、パレスチナ、セルビア。日本は"ロシアの行動が「不十分」"は68%で24か国・地域中、15番目。
- 多くの国で"ロシアの行動が「不十分」"という回答が最も多いが、レバノンは"NATO"、セルビアでは"アメリカ"と"NATO"、パレスチナは"中国"と"アメリカ"、パキスタンは"アメリカ"の行動について「不十分」と言う回答が多い。

## ■以下の国・地域や組織について、戦争終結に向けての行動は、十分だと思いますか、それとも不十分だと思いますか。(それぞれ1つだけ)【不十分】

「不十分」の割合	フィンランド	アイルランド	カナダ	クロアチア	スペイン	イギリス	エクアドル	ドイツ
ロシア	96%	83%	82%	82%	81%	81%	80%	78%
中国	80%	69%	60%	67%	69%	60%	78%	64%
NATO	26%	46%	43%	47%	44%	36%	76%	25%
アメリカ	22%	44%	39%	51%	46%	31%	<b>6</b> 5%	23%
EU・ヨーロッパ諸国	25%	38%	40%	39%	39%	32%	72%	27%
ウクライナ	3%	9%	6%	23%	14%	7%	46%	12%

「不十分」の割合	スロベニア	イタリア	オランダ	コロンビア	ペルー	フランス	日本	チリ
ロシア	78%	76%	75%	73%	73%	72%	<b>6</b> 8%	<b>6</b> 7%
中国	53%	62%	56%	56%	<b>6</b> 5%	55%	58%	53%
NATO	48%	48%	22%	53%	59%	38%	42%	61%
アメリカ	53%	52%	22%	50%	<b>6</b> 2%	37%	41%	52%
EU・ヨーロッパ諸国	37%	39%	23%	51%	60%	32%	41%	55%
ウクライナ	26%	34%	9%	36%	40%	16%	15%	19%

「不十分」の割合	アルゼンチン	メキシコ	トルコ	ナイジェリア	レバノン	セルビア	パレスチナ	パキスタン
ロシア	62%	57%	56%	55%	49%	40%	36%	32%
中国	42%	44%	51%	22%	35%	32%	40%	22%
NATO	55%	55%	53%	34%	56%	72%	36%	25%
アメリカ	54%	50%	56%	39%	25%	73%	40%	35%
EU・ヨーロッパ諸国	48%	47%	55%	36%	53%	62%	37%	30%
ウクライナ	25%	28%	20%	34%	36%	58%	26%	18%



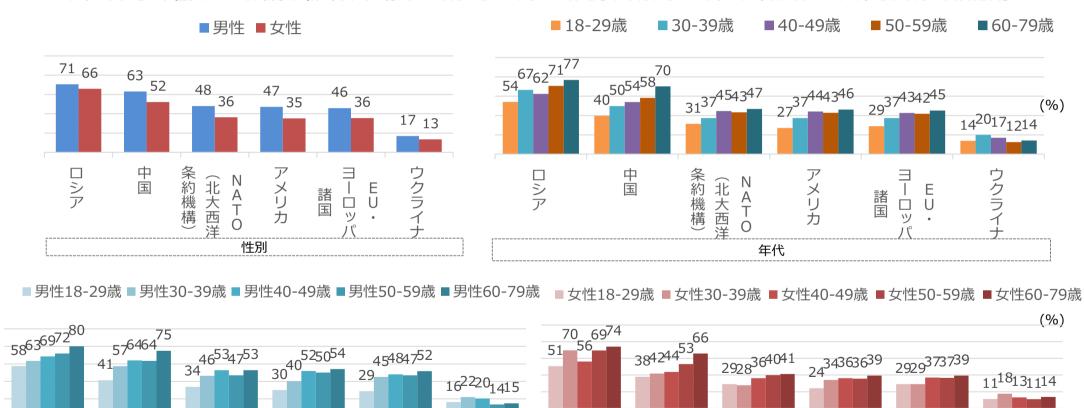


アメリカ

(北大西洋

- 日本の各国などについて"戦争終結に向けての行動が「不十分」"の回答割合を性別にみると、いずれも男性の方が高い。
- ●年代別にみると「不十分」の回答割合はウクライナを除き、年代があがるにつれ増える傾向にあり、特に中国に対してその傾向が顕著。
- 性年代別にみても「不十分」の回答割合は、ウクライナを除いて男女とも年代があがるにつれ増える傾向にある。

#### ■以下の国・地域や組織について、戦争終結に向けての行動は、十分だと思いますか、それとも不十分だと思いますか。(それぞれ1つだけ)【不十分の回答割合】



ロシア

ウクライ

国ツ

中国

アメリカ

女性•年代別

(北大西洋条

A

 $\exists$ 

玉

L E U

ウクライナ



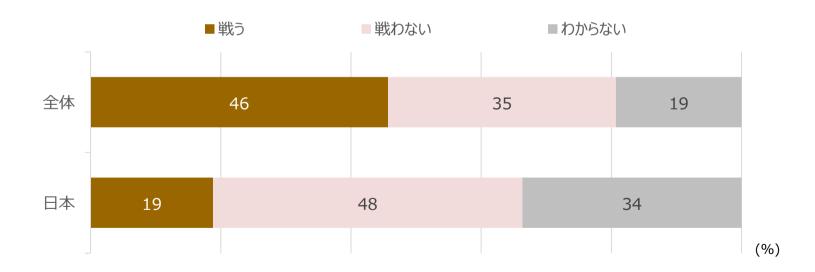
中国

ロシア

## 自国のために「戦う」は24か国・地域平均で46%、日本では19%。

- もし自国を巻き込んだ戦争が生じたら、国のために戦うか聞いたところ、24か国・地域平均は「戦う」が46%、「戦わない」は35%、「わからない」は19%。
- 日本では、「戦う」が19%と24か国・地域平均より少なく、「戦わない」(48%) と「わからない」(34%) が多い。

#### ■もし自国を巻き込んだ戦争が生じたら、あなたは国のために戦いますか。(1つだけ)

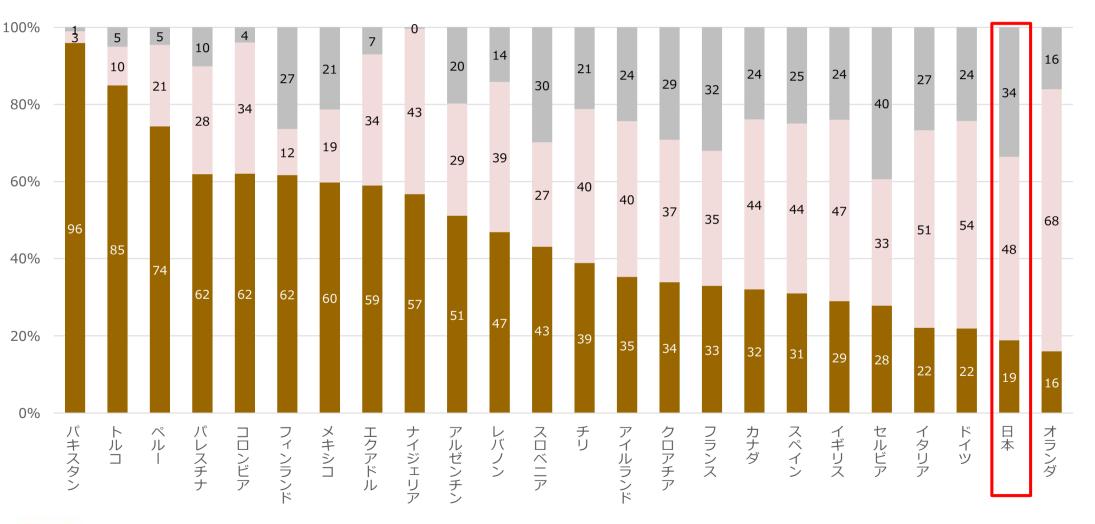






- 自国のために「戦う」の割合の大きい順に並べると、上位3か国はパキスタン、トルコ、ペルー。一方、下位4か国は、オランダ、日本、ドイツ、イタリア。
- 日本は19%で24か国・地域中23番目。

## ■もし自国を巻き込んだ戦争が生じたら、あなたは国のために戦いますか。(1つだけ)



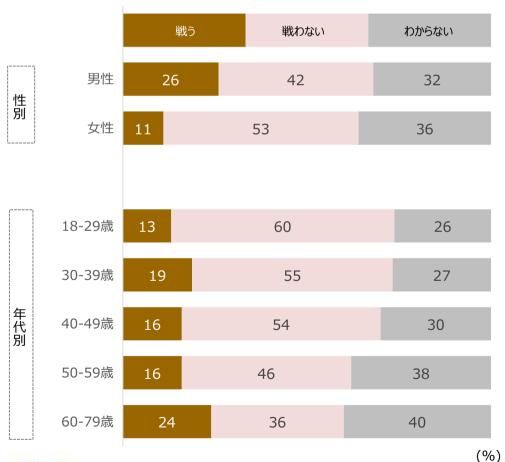


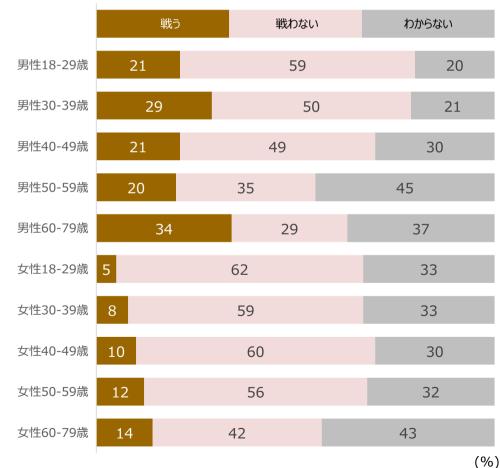


- 日本の結果を性別にみると、「戦う」の割合は男性が26%、女性が11%で男性の方が高い。
- ●年代別にみると「戦う」の回答の割合は60-79歳で24%と最も高いが、「わからない」と言う回答も60-79歳で最も高い。
- 性年代別にみると、「戦う」の割合は男性60-79歳で34%で最も高く、男性30-39歳(29%)が続く。女性は年代があがるにつれて 「戦う」の割合が高くなるが、女性で最も高い60-79歳でも14%。

性年代別

## ■もし自国を巻き込んだ戦争が生じたら、あなたは国のために戦いますか。(1つだけ)





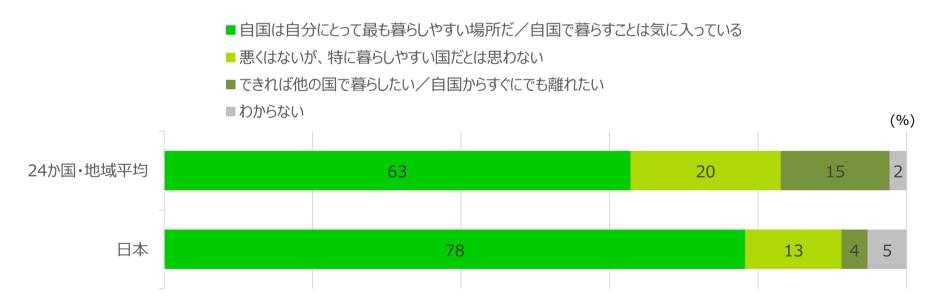


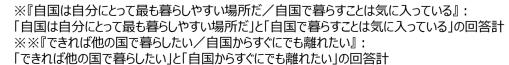


## 『自国は自分にとって最も暮らしやすい場所だ/自国で暮らすことは気に入っている』が24か国・地域平均では63%、日本では78%。

● 自国への関わりの度合いとして最も近いものを選んでもらったところ、『自国は自分にとって最も暮らしやすい場所だ/自国で暮らすことは気に入っている』が24か国・地域平均では63%、日本では78%。日本は自国との結びつきが強い人が多い。

■ 自国への関わりの度合いとして、あなたのお気持ちに最も近いのは、次のうちどれですか。(1つだけ)



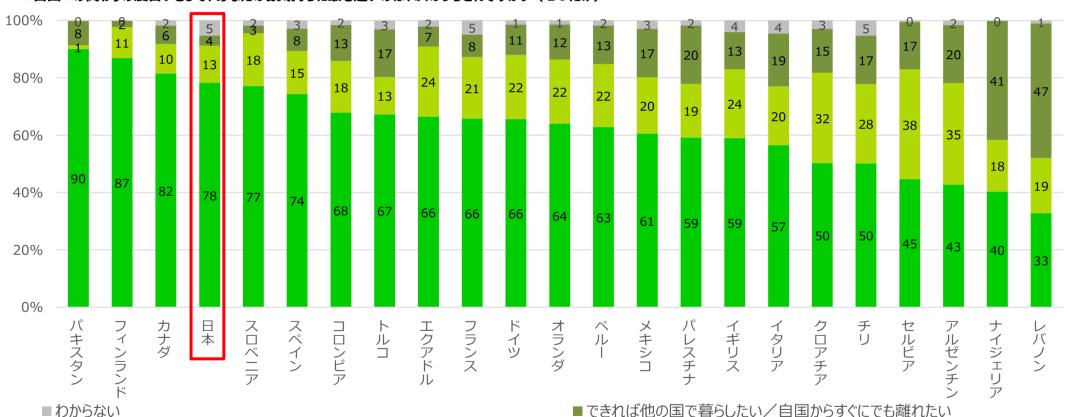






- 『自国は自分にとって最も暮らしやすい場所だ/自国で暮らすことは気に入っている』の割合の大きい順に並べると、上位3か国はパキスタン、フィンランド、カナダ。一方、下位3か国は、レバノン、ナイジェリア、アルゼンチン。
- 日本は78%で24か国・地域中4番目。トップのパキスタンは、自国のために「戦う」の回答でも1番目だが、2番目のフィンランドは「戦う」の回答では4番目(パレスチナ、コロンビアと同率)、3番目のカナダは「戦う」の回答では17番目、4番目の日本は「戦う」の回答では23番目。「結びつきが強い=戦う意向が強い」ではない。

#### ■自国への関わりの度合いとして、あなたのお気持ちに最も近いのは、次のうちどれですか。(1つだけ)



■悪くはないが、特に暮らしやすい国だとは思わない

■自国で暮らすことは気に入っている/自国は自分にとって最も暮らしやすい場所だ





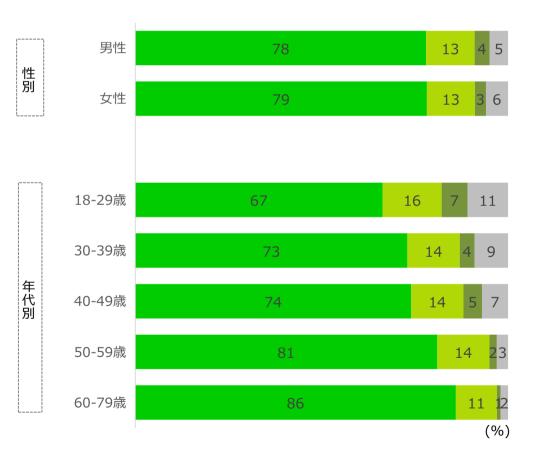
※『自国は自分にとって最も暮らしやすい場所だ/自国で暮らすことは気に入っている』: 「自国は自分にとって最も暮らしやすい場所だ」と「自国で暮らすことは気に入っている」の回答計

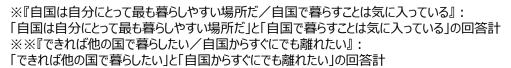
※※『できれば他の国で暮らしたい/自国からすぐにでも離れたい』:

「できれば他の国で暮らしたい」と「自国からすぐにでも離れたい」の回答計

- 日本の結果を性別にみると、『自国は自分にとって最も暮らしやすい場所だ/自国で暮らすことは気に入っている』の回答割合に大きな差はない。
- ●年代別にみると『自国は自分にとって最も暮らしやすい場所だ/自国で暮らすことは気に入っている』の割合は年代があがるにつれ増える。
- ●性年代別にみると、『自国は自分にとって最も暮らしやすい場所だ/自国で暮らすことは気に入っている』の割合は、特に女性で年代があがるにつれ増える傾向にある。

## ■自国への関わりの度合いとして、あなたのお気持ちに最も近いのは、次のうちどれですか。(1つだけ)





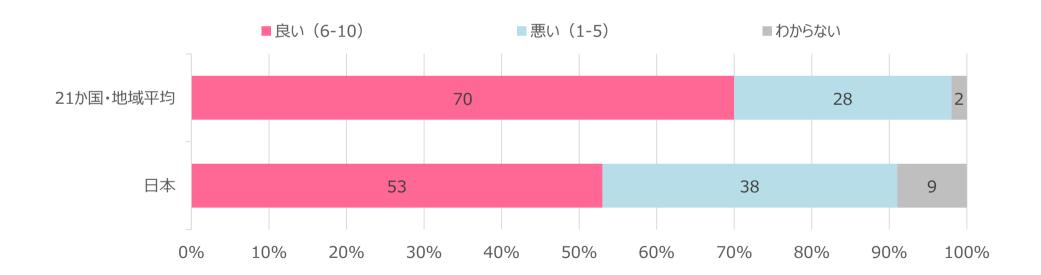


- 自国で暮らすことは気に入っている/自国は自分にとって最も暮らしやすい場所だ (%)
- ■悪くはないが、特に暮らしやすい国だとは思わない
- ■できれば他の国で暮らしたい/自国からすぐにでも離れたい
- ■わからない

## 現在の気分は、21か国・地域平均で『良い(6-10)』が70%、日本は53%。

- 1~10の数字のうち、10が最も良い、1が最も悪いとして、「今日の気分」を聞いたところ、『良い(6-10)』という回答は、21か国・地域平均は70%。
- 日本では、『良い(6-10)』が53%で、21か国・地域平均と比べると17ポイント少ない。

■1~10の数字のうち、10が最も良い、1が最も悪いとして、今日のあなたの気分にあてはまる数字を入力してください。(数字をいれてください)



※『良い(6-10)』: 6~10の回答計 ※※『悪い(1-5)』: 1~5の回答計

アイルランド、イギリス、オランダは本質問の対象外





- 『良い(6-10)』の割合の大きい順に並べると、上位3か国はフィンランド、コロンビア、カナダ。一方、下位3か国・地域は、日本、パレスチナ、トルコ。
- 日本は53%で21か国・地域中最下位(パレスチナと同率)。

## ■1~10の数字のうち、10が最も良い、1が最も悪いとして、今日のあなたの気分にあてはまる数字を入力してください。(数字をいれてください)





※『良い (6-10) 』: 6~10の回答計 ※※『悪い (1-5) 』: 1~5の回答計 アイルランド、イギリス、オランダは本質問の対象外

13

10

7

5

16

16

8

5

(%)

- ●日本の結果を性別にみると、『良い(6-10)』の回答の割合は男女ともほぼ同じ。
- ●年代別にみると、『良い(6-10)』の回答の割合は40代までは4割台だが、50-59歳は55%、60-79歳は63%と、50代以上は 年齢が上がるとともに高くなる。
- ●性年代別にみると、『良い(6-10)』の回答の割合は男性では40-49歳が最も低く、女性は40代以上で年齢が上がると高くなる。

## ■1~10の数字のうち、10が最も良い、1が最も悪いとして、今日のあなたの気分にあてはまる数字を入力してください。(数字をいれてください)





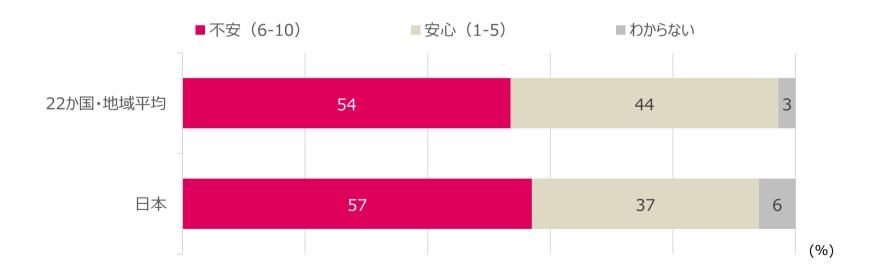


※『良い(6-10)』:6~10の回答計 ※※『悪い(1-5)』:1~5の回答計

## 将来の見通しが『不安(6-10)』の回答の割合は、22か国・地域平均が54%、日本が57%で同程度。

- 1~10の数字のうち、10がとても不安、1がとても安心として、将来についてどう感じるかを聞いたところ、『不安(6-10)』の回答の割合は、22か国・地域平均が54%で、『安心(1-5)』(44%)よりも多い。
- 日本では、『不安(6-10)』が57%で、22か国・地域平均と同程度。

■ 1~10の数字のうち、10がとても不安、1がとても安心として、将来についてどう感じるか、あてはまる数字を一つ選んでください。(1つだけ)

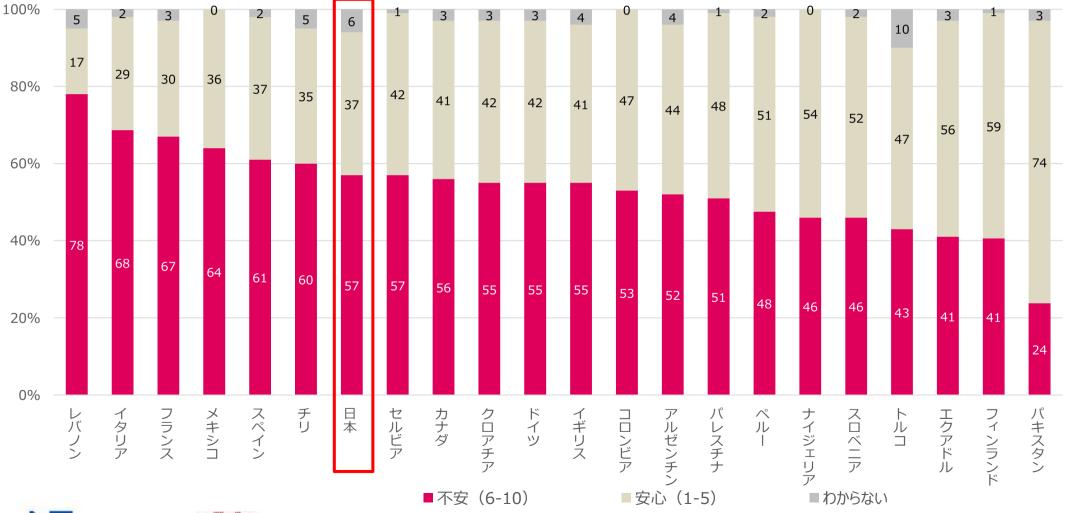


※『不安(6-10)』:6~10の回答計※※『安心(1-5)』:1~5の回答計アイルランド、オランダは本質問の対象外





- 『不安(6-10)』の割合の大きい順に並べると、上位 3 か国はレバノン、イタリア、フランス。一方、下位3か国は、パキスタン、フィンランド、 エクアドル。
- 日本は57%で22か国・地域中7番目(セルビアと同率)。
- 1~10の数字のうち、10がとても不安、1がとても安心として、将来についてどう感じるか、あてはまる数字を一つ選んでください。(1つだけ)





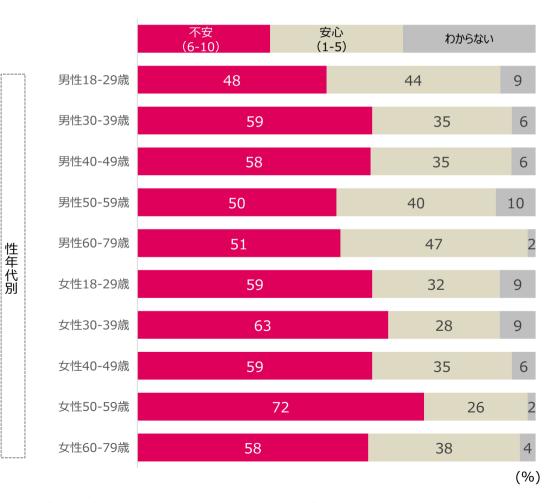


※『不安 (6-10) 』:6~10の回答計 ※※『安心 (1-5) 』:1~5の回答計 アイルランド、オランダは本質問の対象外

- ●日本の結果を性別にみると、『不安(6-10)』の回答の割合は女性が62%で、男性(53%)よりも9ポイント多い。
- ●年代別にみると、『不安(6-10)』は30-39歳と50-59歳で最も高く61%。
- ●性年代別にみると、『不安(6-10)』は女性50-59歳で72%と他の性年代と比べて高い。

## ■ 1~10の数字のうち、10がとても不安、1がとても安心として、将来についてどう感じるか、あてはまる数字を一つ選んでください。(1つだけ)



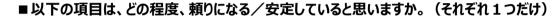






## "自国の経済状況"が『頼りになる・安定(計)』の割合は、24か国・地域平均が29%、日本が15%。

- "自国のメディアで報道されている、ロシアのウクライナ軍事侵攻・戦争についての情報の質"が『頼りになる・安定(計)』は、24か国・地域平均では44%、日本は43%で同程度。"自国の行政から受ける、ロシアのウクライナ軍事侵攻・戦争についての情報の質"が『頼りになる・安定(計)』は若干下がり、24か国・地域平均では41%、日本は35%。
- "自国の経済状況"が『頼りになる・安定(計)』の割合は、24か国・地域平均が29%、日本が15%と低い。"今後数か月間の自身の世帯の経済状況"が『頼りになる・安定(計)』の割合は、24か国・地域平均が46%、日本が30%。



# 24か国·地域平均

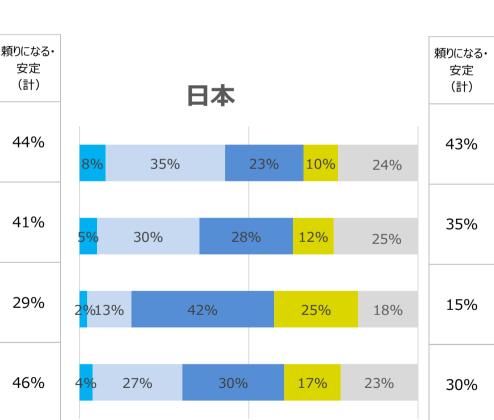
自国のメディアで報道されている、ロシアのウ クライナ軍事侵攻・戦争についての情報の質

自国の行政から受ける、ロシアのウクライナ軍 事侵攻・戦争についての情報の質

自国の経済状況

今後数か月間の自身の世帯の経済状況





※『頼りになる・安定(計)』:「とても頼りになる/安定している」と「やや頼りになる/安定している」の計

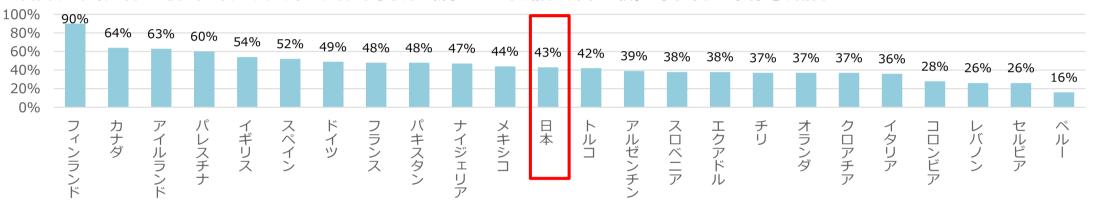
日本リサーチセンター Member of WIN and Gallus International Association



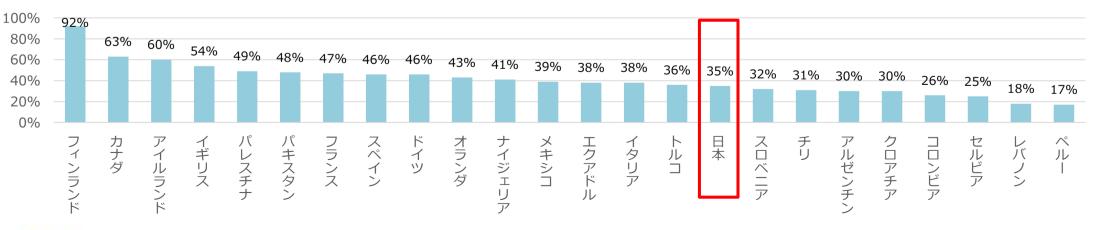
- ■とても頼りになる/安定している
- やや頼りになる/安定している
- ■あまり頼りにならない/安定していない
- ■全く頼りにならない/安定していない

- "自国のメディアで報道されている、ロシアのウクライナ軍事侵攻・戦争についての情報の質"が『頼りになる・安定(計)』の割合の大きい順に並べると、上位3か国はフィンランド、カナダ、アイルランド。下位3か国は、ペルー、セルビア、レバノン。日本は24か国・地域中12番目。
- "自国の行政から受ける、ロシアのウクライナ軍事侵攻・戦争についての情報の質"も上位3か国(フィンランド、カナダ、アイルランド)と下位3か国(ペルー、セルビア、レバノン)は同じ。日本は24か国・地域中16番目で少し下がる。
- ■以下の項目は、どの程度、頼りになる/安定していると思いますか。(それぞれ1つだけ)

## 自国のメディアで報道されている、ロシアのウクライナ軍事侵攻・戦争についての情報の質:『頼りになる・安定(計)』の割合



## 自国の行政から受ける、ロシアのウクライナ軍事侵攻·戦争についての情報の質:『頼りになる·安定(計)』の割合



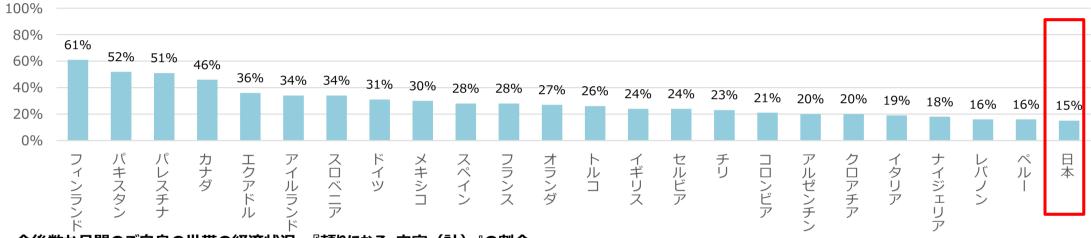




- "自国の経済状況"が『頼りになる・安定(計)』の割合の大きい順に並べると、上位3か国・地域はフィンランド、パキスタン、パレスチナ。下位3か国は、日本、ペルー、レバノン。日本は15%で24か国・地域中最下位と、自国経済への信頼が低い。
- "今後数か月間の自身の世帯の経済状況"が『頼りになる・安定(計)』の割合の大きい順に並べると、上位3か国はフィンランド、カナダ、 パキスタン。下位3か国は、レバノン、ペルー、日本。日本は30%で24か国・地域中22番目。

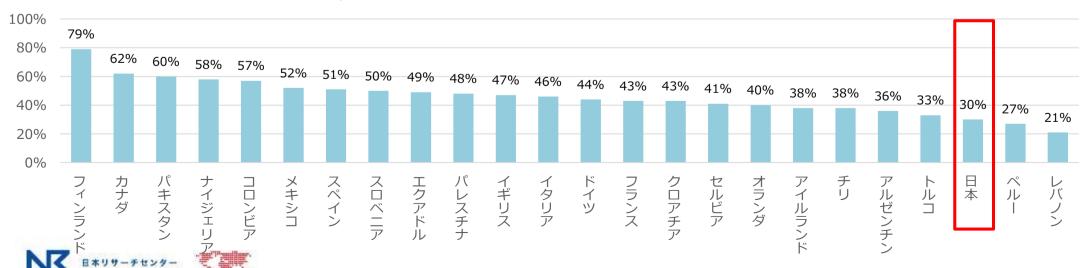
## ■以下の項目は、どの程度、頼りになる/安定していると思いますか。(それぞれ1つだけ)

自国の経済状況:『頼りになる・安定(計)』の割合



## 今後数か月間のご自身の世帯の経済状況:『頼りになる・安定(計)』の割合

WIN SOME STREET



※『頼りになる・安定(計)』:「とても頼りになる/安定している」と「やや頼りになる/安定している」の計

- ●日本の結果を性別にみると"自国の経済状況"が『頼りになる・安定(計)』の割合は男性が若干高い。
- ●年代別にみると"自国のメディアで報道されている、ロシアのウクライナ軍事侵攻・戦争についての情報の質"と"自国の行政から受ける、ロシアのウクライナ軍事侵攻・戦争についての情報の質"が『頼りになる・安定(計)』は30代・40代で最も低い。"自国の経済状況"は40代・50代で、"今後数か月間の自身の世帯の経済状況"は40代で最も低い。
- ●性年代別にみると、"今後数か月間の自身の世帯の経済状況"が『頼りになる・安定(計)』は男性50代で最も低い。
- ■以下の項目は、どの程度、頼りになる/安定していると思いますか。(それぞれ1つだけ)

『頼りになる・安定(計)』の割合		自国のメ	ディアで報道 自国		行政から受け				
			されている、ロシアのウ		る、ロシ	アのウクライナ			
			クライナ軍	事侵攻・戦	軍事侵	攻・戦争につい		今後	数か月間のご自
			争について	ての情報の質	ての	情報の質	自国の経済状況	身の世	世帯の経済状況
	性	男性		44%		35%	17%		30%
	別	女性		42%		36%	13%		31%
		18-29歳		41%		37%	21%		36%
	年	30-39歳		31%		30%	17%		30%
	代	40-49歳		33%		29%	12%		21%
	10	50-59歳		43%		39%	12%		24%
		60-79歳		54%		39%	16%		36%
		18-29歳		41%		39%	24%		36%
	男	30-39歳		28%		28%	21%		33%
	一 先	40-49歳		37%		30%	14%		22%
	11	50-59歳		43%		38%	11%		16%
		60-79歳		56%		38%	18%		38%
		18-29歳		41%		35%	18%		37%
	+-	30-39歳		34%		32%	13%		28%
	女 性	40-49歳		29%		29%	10%		19%
	IT	50-59歳		44%		41%	12%		33%
		60-79歳		52%		40%	14%		35%





# <参考資料>調査対象国一覧

● 24か国・地域の内訳と各国の調査手法およびサンプルサイズ

調査手法:面接調査、電話調査、インターネット調査

調査対象:18歳以上の個人 実施期間:2022年4月~5月

地域	国·地域	手法	サンプル サイズ
アジ	日本	CAWI	1,099
ア	パキスタン	CAWI	500
北米	カナダ	CAWI	1,002
	アルゼンチン	CAWI	724
	チリ	CATI	1,326
中	コロンビア	CAPI	810
南米	エクアドル	CAWI	540
	メキシコ	CAWI	500
	ペルー	CAWI	1,121
	レバノン	CAWI	500
中東	パレスチナ	CAWI	1,524
	トルコ	CAWI	1,005

地域	国・地域	手法	サンプル サイズ
アフリカ	ナイジェリア	CATI	500
	クロアチア	CAWI	540
	フィンランド	CAWI	501
	フランス	CATI	1,577
	ドイツ	CATI	500
	アイルランド	TAPI	1,015
欧州	イタリア	CAWI	974
	オランダ	CAWI	1,025
	セルビア	CAWI	504
	スロベニア	CAWI	596
	スペイン	CATI	1,012
	イギリス	CAWI	2,076
24力国·均	21,471		

CATI (Computer-Assisted Telephone Interview): コンピュータ使用・電話調査

CAWI (Computer-Assisted Web Interview): インターネット調査 TAPI (Tablet Assisted Personal Interview): ダブレット使用・面接調査 CAPI (Computer-Assisted Personal Interview): コンピュータ使用・面接調査 ● 日本の調査仕様および属性別調査サンプルサイズ

調査方法:インターネット調査

調査対象:全国の18~79歳男女個人 1,099人

実施期間:2022年4月13日~17日

日本	属性	サンプル サイズ
性	男性	542
別	女性	557
	18-29歳	159
年	30-39歳	161
代	40-49歳	213
別	50-59歳	194
	60-79歳	372
	男性18-29歳	80
	男性30-39歳	82
	男性40-49歳	108
.644-	男性50-59歳	96
性 年	男性60-79歳	176
代 別	女性18-29歳	79
	女性30-39歳	79
	女性40-49歳	105
	女性50-59歳	98
	女性60-79歳	196





# 《引用・転載時のクレジット表記のお願い》

本リリースの引用・転載の際は、下記連絡先にメールにて掲載のご連絡をお願い致します。

連絡先:(株)日本リサーチセンター広報室

WIN・ワールドワイド・サーベイ2022担当

メール: <u>information@nrc.co.jp</u>

本リリースの引用・掲載の際は、必ず「日本リサーチセンター/WIN(Worldwide Independent Network Of Market Research)調べ」とクレジットを明記してください。 調査結果のグラフ・表をご利用の場合は、データ部分に当社クレジットを掲載してください。



